



南関中スピリッツ

「自分の限界に挑戦！アクティブ南関中」

R4南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

No. 27 (文責 永杉尚久)

令和4年度を終えるに

あたって

3月24日に1・2年生の修了式を行いました。これで、令和4年度の活動は終了です。学校は、新年度への準備の期間を迎えます。本日生徒たちに話した概要をお知らせします。

まず、生徒たちに「自分の夢や目標に向かって、小さな努力の積み重ねや行動がとれた、限界への挑戦ができたと思う人」と尋ねました。小さな努力を惜しまずに取り組んだのか。行動したのか。挑戦したかということは自分で判断できると思います。挑戦した結果よりも、やったかやらないか、過程がとても大切です。この姿勢は、これからの生活に生きてきます。しっかりと心に留めておいてください。

次に、生徒たちのあいさつについて話しました。保護者や地域の方からあいさつがよくなってきているとお話を伝えたいので、あいさつは当たり前のことですが、この当たり前をきちんとできて周りの人に評価されることは大きな力です。学校以外の場所でできることは本物の力とってください。あなた達に、本物の力が身に付いてきていると分かってく嬉しくなりました。」と話しました。

最後に、令和5年度に向かっての心構えを話しました。

令和5年度は、2年生は最高学年になり、自分の夢や目標に向かって、また学校の代表として挑戦の年になります。1年生は、学校を動かす原動力として全ての活動で3年生を支え新入生を引っ張り、学校全体の挑戦を前に進める1年です。

1年後、成長した自分を実感できるようになってください。そのために、春休み中に準備しておいて欲しいことを伝えます。

「自覚」です。それぞれの学年の意義と役割をしっかりと自覚して、心の準備をしてください。

君たちの限界への挑戦は、これからも続きます。気持ちをしっかりと持ち続けてください。

令和5年度が、南関中生にとって輝く1年でありますように。



今日の論語

曾子^{そうし}曰^いわく、
「吾日^{われ}に吾が身を三省^{さんせい}す。人のために謀^{はか}りて忠^{ちゅう}ならざるか。朋友^{ほうゆう}と交わりて信^{まじ}ならざるか。習^なわざるを伝えしか。」と。
曾子は言われた、「私は、毎日何度となく自分自身を振り返る。相手を思つて行動できたか。友達に誠実であったか。自分がよく分かつていないことを人に伝えなかつたか。」と。
三つのうちの一つでも、毎日とは言わず時々振り返ることができたら、と思います。

南関中生の輝き

《第51回金栗駅伝大会》

混合中学男女の部 準優勝

(田崎空汰、奥菌優惺、田畑結愛、舛永葵、川下結音、松永勇磨)

中学男子の部 4位

(後藤煌稀、中村陽彩、立山翔太、高木悠人、坂梨天飛、西山利来)

《横島いちごマラソン大会》

中学男子の部5km 3位 後藤煌稀

《第1回熊本県中学生吹奏楽新人コンクール》

銀賞 南関中吹奏楽部

(大倉史菜、池田真凜、井上祐泉子、大里結月、堀大珠、熊谷瑠菜、橋本あかり)

《玉名荒尾1年生バレーボール大会》

3位 (横枕一華、江口羽音、井村若菜)